

# グローバル展開における中国とシステム構築

## ～日本と同レベルの管理・技術ノウハウで品質を向上～

中国経済の成長は目を見張る。自動車販売台数など、米国を上回る市場も出てきた。インターネットの利用者数も4億人に迫り、ITの重要性も増している。当社は、2002年に中国現地法人「新日鉄軟件(上海)」を設立。日本と同レベルのプロジェクト管理・IT技術を持つ現地スタッフを拡充し、お客様の事業戦略を高い品質で支援している。



## 近藤 一政

新日鉄ソリューションズ株式会社  
取締役  
鉄鋼ソリューション事業部長  
中国事業推進班長委嘱

### ドル換算GDPは日本を抜く勢い 「世界の市場」への転換が加速

中国のGDP(国内総生産)は2008年に4.5兆ドルに達し、2009年に4.9兆ドルになると予想されている。2009年の日本のGDPは5.0兆ドルで、日本と中国経済の成長率の違いを考えると、中国が近々日本を抜いて世

界第2位になるのは確実である。もちろん、中国の人口は13億3741万人(2008年)と日本の10倍強で、一人当たりのGDPは日本に及ばない。だが逆に言えば、中国はそのような段階でも、日本に匹敵する経済規模を実現した。中国は従来「世界の工場」といわれてきたが、これからは「世

界の市場」、さらにはグローバル経済におけるプレーヤーとしての重要性が急速に高まるはずだ。

市場として見た場合の中国経済は、部分的に米国を上回るようになっている。

最近では、自動車販売台数が米国を抜いたことが話題になった。2009年の中国の自動車販売台数は1360万台で、米国の同1040万台に比べ約1.3倍である。両国の統計の分類は多少違うので厳密な比較ではない。ただ、これだけ差がつくと、米国を抜いたことに疑問の余地はない。

また、インターネット利用者数は2009年末時点で3億8400万人と、北米の1.5倍に達した。増加率は前年比で28.9%に及び、既に1億人がネット販売を利用しているという。

携帯電話加入件数については、大きな差が開いている。比較が可能な2008年末時点の数字で見ると、中国は6億4123万件で、米国の2億7050万件に比べて実に2.5倍になっている。このように、中国は経済成長に伴って、先進国と同様な製品・サービスを求めるようになっていく。

特にITは重要なカギを握っている。2002年の中国のインターネット

利用者は5910万人で、ブロードバンドの比率も約11%だった。それが、2005年にネット利用者が1億人を越えたところから、ブロードバンド比率が上昇。2008年からは、ネット利用者の約90%をブロードバンドが占めている。背景の一つは、携帯電話サービスにおいて「3G(第三代)」と呼ばれる高速データ通信規格サービスが始まったことだ。モバイルインターネット利用者は、2009年に2億3300万人に達し、ネット利用者全体の約6割を占める。

このように、規模・質ともに転換を遂げる中国市場は、日本を含めた世界中の企業の高い注目を集めている。日本企業の進出・投資に関するニュースも毎日のように新聞・テレビに登場している。

### 中国へ進出する日本企業に対して システム構築・運用を幅広く支援

当社も、中国へ進出する日本企業のお客様のシステム構築・運用を支援する体制を築き、実績を重ねてきた。特徴は、日本と同レベルの管理・技術を中国でも適用できるよう、中国国内と日本のスタッフが幅広く連携することである。

現地法人としては2002年に、新日鉄軟件(上海)有限公司を設立している。本社は上海市にあり、大連市と深圳市にそれぞれ分公司(支社)を置く。当初から日本企業の中国進出を支援する目的で設立しており、業務範囲については「ITコンサルティングサービス」から「システム保守・監視サービス」まで、システムライフ

#### ■中国市場の規模は部分的に米国を上回る場合も

##### 自動車販売台数(2009年)

中国1360万台(うち乗用車1030万台)  
■出所:中国汽车工业协会(CAAM)

米国1040万台(乗用車およびライトトラック)  
■出所:米商務省

米国の約1.3倍



##### インターネット利用者数(2009年末時点)

中国3億8400万人(うち1億人がネット販売を利用)  
■出所:中国インターネット情報センター

北米2億6000万人  
■出所:Internet Usage World Stat

北米の約1.5倍



##### 携帯電話加入件数

中国6億4123万(2008年末)  
■出所:中国工業・情報化部

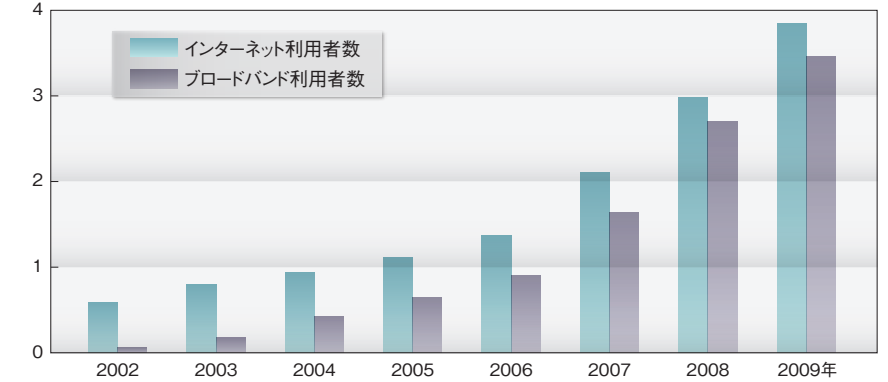
米国2億7050万(2008年末)  
■出所:ITU統計

米国の約2.4倍



#### ■中国市場においてITは重要なカギを握る

単位:億



ブロードバンドの急速な普及でITの重要性が高まる

各年末時点の数字、出所:中国インターネット情報センター

#### ■当社は現地法人を8年前に設立して中国事業を展開

##### 新日鉄軟件(上海)有限公司

設立:2002年

オフィス(本社)上海市

(深圳分公司) 深圳市

(大連分公司) 大連市

社員数:70名(提携パートナー250名)

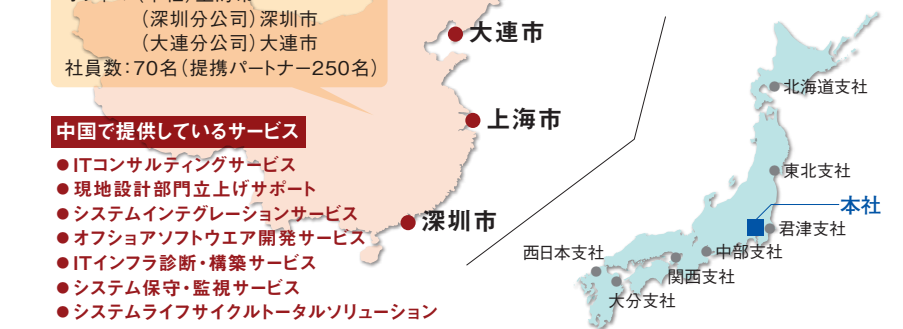
##### 中国で提供しているサービス

- ITコンサルティングサービス
- 現地設計部門立上げサポート
- システムインテグレーションサービス
- オフショアソフトウェア開発サービス
- ITインフラ診断・構築サービス
- システム保守・監視サービス
- システムライフサイクルトータルソリューション

##### 新日鉄ソリューションズ

事業センター:国内9カ所

データセンター:国内5カ所



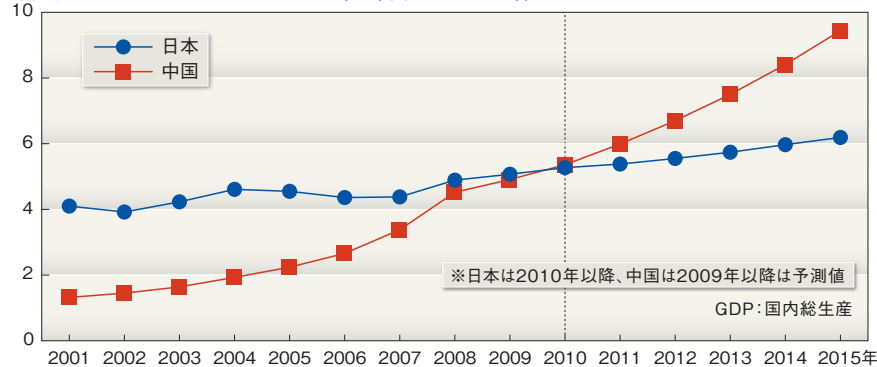
サイクルをトータルでサポートすることを日本国内同様に実現している。また、新日鉄ソリューションズのオフショアソフトウェア開発拠点としての活動も行っている。

新日鉄軟件の社員数は、2010年3月末時点で現地採用の中国人を中心に70名に上る。彼らに新日鉄ソリューションズと同じプロジェクト管理やIT技術を教育し、日中で共通の標準

#### ■GDPが2010年にも日本を抜くなど、「世界の市場」への転換が加速している

単位:兆ドル

日本と中国のドルベース名目GDP



※日本は2010年以降、中国は2009年以降は予測値

GDP:国内総生産

「世界の工場」から「世界の市場」として重要性が急速に高まる

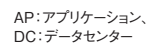
出所:IMF(国際通貨基金) World Economic Outlook Database



■統一開発標準に基づくシステムインテグレーションサービス



■現地企業とのパートナーシップに基づくシステム保守・監視サービス



を適用することによって、質の高い  
事業を展開している。

|                                                                                     |                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>まず、NSSDCクラウド（後述囲み記事参照）も活用し、日本で新日鉄ソリューションズが適用している開発標準を、中国でも利用してプロジェクトを推進している。</p> | <p>開発経験が6年以上、SEは開発経験が4年以上ある。進捗報告および仕様確認などは日本語で、成果物も日本語による作成が可能だ。</p> <p>これらの特徴を活かし新日鉄軟件</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|

次に、現地社員は毎年、計画的に10名ほど日本のプロジェクトに参加させて、日本のお客様のビジネスのやり方、オペレーションのやり方を学んでいる。これにより、新日鉄ソリューションズらしさを身につけ、日本と同じ開発標準を使いこなせるリーダーとしてプロジェクトを進められるようにするのが狙いだ。

新日鉄軟件の現地社員の8割は、 からシステムインテグレーションを行

日本語1級相当の語学力がある。社内の公用語も日本語である。PMは開発経験が6年以上、SEは開発経験が4年以上ある。進捗報告および仕様確認などは日本語で、成果物も日本語による作成が可能だ。

これらの特徴を活かし新日鉄軟件では、システム構築から運用保守まで「システムライフサイクルトータルソリューション」をお客様のグローバル戦略に沿って段階的に推進している。

例えば、お客様のシステムを新日鉄軟件でオフショア保守することから始め、新日鉄軟件のお客様業務への理解を深める。続いて、現地での新規システム構築に当たっては上流からシステムインテグレーションを行

う。さらに、お客様の中国拠点拡大に合わせてシステム横展開をサポートする。

また、現地での運用フェーズでは、駐在員や多数の出張者から毎日何らかのシステムやOAに関する問い合わせが発生している。一方、現地ではIT専任のシステム管理者が必ずしも配置されているわけではなく、解決に時間を要している例もある。

その中でビジネスを安全かつ円滑に継続するためには、OAを含むシステムインフラのセキュリティ対策、資産管理、利用サポートなどインフラに関するサポートも欠かせない。新日鉄軟件では、ヘルプデスクに加えてお客様の各拠点を定期的に巡回するサービスも提供している。現地でのお客様のビジネス拡大を、IT資産の診断・構築から運用・保守・更新までのライフサイクルを一貫してトータルOne Stopで支援することが可能である。

大切にしていることは、お客様の  
現地の声を徹底的に聞くことである。  
「ローカルのコストが高い」「品質が向  
上しない」「中国からグローバルへの  
輸出など新しい業務を始める」「日本  
とのメールやTV会議がスムーズで  
ない」など、新日鉄軟件は現地での  
日本企業のさまざまな悩みにきちん  
と対応していく。

## 新日鉄ソリューションズ全体で 中国の事業推進体制を強化

新日鉄ソリューションズは、新日鉄  
軟件と連携しながら、お客様が中国  
でビジネスをスピーディに展開でき

るように支援する。

基本的に、中国へ進出するお客様への対応は、各ビジネスユニットと新日鉄軟件が連携して行う。各ビジネスユニットはプロジェクトを統括し、お客様のビジネスへ総合的に対応。その一方で、新日鉄軟件は中国現地拠点として、中国国内のシステム構築・運用で主体的な役割を担う体制になっている。

それに加えて、中国事業推進班が、“All NSSOL”としての中国事業戦略を立案する。具体的には、事業強化に向けた経営資源投入の検討を行うとともに、新日鉄軟件と各ビジネスユニットのブリッジ（仲介役）となる。

こうした事業推進体制の構築に加えて、当社は現地エンジニアの人材

## 中国を含む全社の開発を支援するクラウドを構築

中国で日本と同じ品質のシステム開発を行うことは容易ではない。当社はこの課題に、全社システム開発・テスト環境「NSSDCクラウド」を用意することで効率的に対応できるようにした。

NSSDCクラウドでは、当社が作成したシステム開発・テスト環境をクラウドサービスとして提供することで、世界中で同一の開発環境とプロセス管理に基づき、アプリケーション開発を行うことができる。全国の関連会社および海外のオフショア先で、アプリケーションの品質・生産性向上に活用している。

2010年4月時点では40プロジェクトで利用を検討しているほか、当社が今後受託するシステムは基本的にNSSDCクラウド上で開発する予定である。

当社は、2008年4月に「ソフトウェア  
開発センター(NSSDC)」という研究組織

を設立。開発プロセスや成果物・プロセス管理ツール群の標準化を進め、その成果を「次世代開発環境基盤」としてまとめた。2010年3月末時点で200案件のべ5000人が利用している。NSSDCクラウドは、その次世代開発環境基盤をクラウド化したものだ。

NSSDCクラウドは、クラウド・コンピューティングITインフラサービス「absonne (アブソンヌ)」上に実装されている。

開発したアプリケーションは、すぐ absonne 上でクラウドサービスとして提供できるようにもなっている。

## ■オフショア先との開発環境統一に力を発揮するNSSDCクラウド

